



みんなの声が原動力!

原のりひこ

市政レポート 2023.1(No.9)

原のりひこ
公式サイト



Facebook



発行: 原 紀彦 岡崎市細川町字さくら台8-3
連絡所: 〒471-0832 豊田市丸山町カバハウス 2F
トヨタ自動車労働組合: TEL (0565)24-1111(代)
✉: norihokohara5219@gmail.com



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。大河ドラマ『どうする家康』の放映に合わせて、岡崎公園内に大河ドラマ館が1月21日にオープンします。入場料については、市民割がお得です!是非ご活用いただければと思います。

また、岡崎市では経済的な負担軽減を図るための緊急対策として、特に影響を受けている方へ券(クオカード)を支給します。その他12月定例会で審議した主な内容をご紹介します。

令和4年12月定例会における補正予算の主なもの

NEW ○経済的支援策(クオカード支給) … 8億2,246万円

75歳以上の高齢者、中学生までの子を養育する保護者、障がい者、難病患者等、高校生の年齢にあたる子を養育する保護者に対し、クオカードを支給。



NEW ○出産・子育て応援(妊娠届5万円支給・出生届5万円支給) … 3億6,044万円

妊娠届を行った妊婦さんへ、出産育児関連用品の購入費助成のために5万円を支給。また、出生届を行った養育者へ、子育て支援サービスの利用負担軽減を図るために5万円を支給。

(市独自の新生児一人につき5万円給付事業『すくすく赤ちゃん特別支援金』も継続します)



NEW ○妊娠期から子育てまで一貫した伴走型相談支援 … 176万円

妊娠期や子育て期の家庭からの相談支援を拡充するため、専門職員によるオンライン相談の手法を新たに追加し、各家庭と容易に相談できる環境の準備を実施。

(専門職員による面接・訪問・電話・オンラインでの相談が可能)



○本宿駅周辺地域の整備 … 9,746万円

アウトレット事業者と進めている道路整備に必要な用地取得に対して、協定に基づいた負担金の支払い。

(用地取得: 令和5年度、道路整備: 令和5年度~令和7年度)



*イメージ

2023年大河ドラマ『どうする家康』

大河ドラマ館 1月21日オープン!

岡崎市民の方は、**期間限定で半額!**

【市民割】大人:400円 小人:200円



詳細はQRコードから!



【岡崎公園周辺の公共駐車場にて予約制を導入】
令和5年の桜まつり期間中 3/24(金) ~ 3/31(金)を予定
(*乙川リバーベース南駐車場は3/25(土)、26(日)を予定)





12月定例会 一般質問！

通算7度目の一般質問に登壇しました！今回はテーマとして『困窮者支援について』と『地域住民による移動支援について』を取り上げましたので、概要を掲載させていただきます。詳細については、QRコードよりご確認ください。



困窮者支援について

Q. 食料が必要なお子さんのいるご家庭に、直接お届けするアウトリーチ型の活動「こども宅食」を岡崎市で初めて今年からスタートさせた団体がいるが、岡崎市として、どのような位置づけで捉えているのか？

A. 子ども食堂や地域の居場所などに自ら出向くことができない方の孤立を防止する支援事業として、大変有効であると考えている。このような民間団体による支援活動は、来年1月に開設予定の孤独・孤立支援のポータルサイトにて情報を取りまとめ周知していく。

Q. 困り事として、「定期的に配布する食料の確保が難しい」点や、「家庭毎の困り事を、どのような支援につなげていけば良いのか判断が難しい」といった声を聞くが岡崎市の支援策は？

A. 事業運営の体制強化を支援するため、備品などの購入費や事業運営にかかる経費の補助を実施している。また、配布する食料品等については、市が受納した寄付物品を提供するほか、社会福祉協議会の「はぴりんバンク」からも提供を行っている。

訪問した家庭への支援については、さまざまな悩みを抱える世帯の相談を包括的に受け止め、支援をコーディネートする福祉総合相談体制を整えている。こういった窓口と連携を図って行く。

地域住民による移動支援について

Q. 北斗台団地は特に高齢化が進んでいる。そんな中、バス停までの移動が困難な方や、免許証を返納して病院・買い物等への移動手段にお困りの方を対象としたボランティアカーの活動を町内会の方お一人で今年の4月よりスタートさせた。こういった活動に対し岡崎市としてどう受け止めているのか？



A. 主体的に課題解決に取り組む先進的な地域に対して、まずはボランティアカーの利用促進など自主的な取組を見守り、お住いの皆さまにとってより良いあり方を共に考えて行く。

Q. この活動を継続的な取組にするためには、さまざまな観点から課題（ドライバー確保・運営方法など）を解決すべきと考えるが今後の展望は？

A. 高齢化が加速する中での移動手段確保の新しい仕組みとして、時速20キロ未満で公道を走ることができる4人乗り以上の電気自動車を活用した、環境に優しい小型の移動サービス、グリーンスローモビリティがある。このサービスの検討調査をこの北斗台地区で受け入れて、グリーンスローモビリティの活用の可能性を探って行く。利便性の高い新たな移動手段モデルが提唱され、北斗台がその先進的な地域となり、岡崎市全域へ展開できることを大いに期待している。

「原のりひこ」に声を届けよう！

原のりひこ後援会 LINEアプリ登録方法

①右のQRコードから友達登録！



②友達登録後、ガイダンスに従い手続きをお願いします！

③ご意見やご要望など送信ください！

